

※著作権取得済み

障害者雇用の新しいスタイルに

企業向け「貸し農園」オープン 長久手

長久手市茨ヶ畑間に先ごろ、障害のある人の就労を目的とした企業向け貸し農園「わくはびねす農園」が開園しました。現在18、62歳の59人が働きながら経済的な自立を目指しています。

貸し農園を全国展開するエスプールプラス

(本社東京)が運営し県内7カ所目。長久手市では「障害の特性にあった職業雇用の拡大」を目指し、同社と就労支援に関する協定を締結しています。

企業が雇用し就労

企業は農園の一角を借り受ける一方、障害

者と雇用契約を結んで賃金を支払うシステム。収穫した野菜は販売、企業食堂用に、または子ども食堂へ寄付するなど用途は企業に任されています。

あま市に本社を置く名古屋電機工業は昨年に参加。視察に訪れていた同社の中北洋さん(61)は「社員の方が地道な仕事を一生懸命にする姿に心を打たれました」と意義を実感していました。

同社の社員で農園で就労する田村絵則さん(54)は「前は工場で検品作業をしていました。ここは仕事も楽しく通勤も便利で楽園です」と笑顔。間もなく収穫を迎えるラディッシュの間引き作業に丁寧に取り組んでいました。

農園に関する問い合わせは ☎0120-997-212 エスプールプラス。



農場長が見守る中、丁寧に作業する就労者